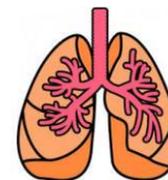


肺がんについて知ろう



【“がん”とは何か】

◆何らかの原因によって遺伝子に異常が起こり、限りなく増殖する性質を持つようになった細胞を「がん細胞」といいます。

「肺がん」とは、肺から始まったものを言い、正確には「原発性肺がん」と呼びます。これに対して、例えば乳がん、大腸がんなどほかの臓器から始まって肺に転移を起こした場合は「転移性肺がん」と呼びます。

【肺がんの統計】

◆日本の死亡原因の1位は「がん」です。

旭市の「がん」の部位別死亡状況を見てみると、男女とも肺（気管・気管支を含む）が1位となっています。

出典：平成30年千葉県衛生統計年報

【肺がんタバコとの関係】

◆肺がんの最大の原因はタバコと言われています。*

「タバコを吸ったことがない人」のがんにかかるリスクを1.0とすると、「現在タバコを吸っている男性」のリスクは肺がんが4.5倍となり、「女性」では4.2倍になると報告されています。*

*がんの統計 2008年度版（財団法人がん研究振興財団）



【肺がんの種類】

◆肺がんは、大きく以下の4つの種類に分類されます。

・腺がん ・扁平上皮がん ・大細胞がん ・小細胞がん

【肺がんの転移】

◆肺には多くの血管やリンパ管が集まっているため、がん細胞は血流によって脳や骨、肝臓に転移しやすくなっています。

【治療方法】

◆がん細胞の種類と進行度によって治療方法が変わってきます。主な治療には、手術・放射線治療・化学療法・分子標的治療・がん免疫療法があります。

治療法は、がん細胞の種類と病期（進行度）、さらに患者の全身状態の3つの要素がもととなり選択されます。

【肺がんを予防するためには】

◆禁煙

◆他人のタバコの煙を避けましょう

◆野菜や果物を積極的に摂りましょう

そして、偏食をせず、バランスよく摂りましょう

◆40歳になったら毎年の検診を受けましょう

